

令和6年度 第1回 世田谷区長定例記者会見

令和6年5月10日
世田谷区

令和6年能登半島地震被災自治体（珠洲市・輪島市）訪問 「世田谷区能登半島地震災害支援金」を寄贈、両市長と懇談

珠洲市役所訪問



珠洲市 泉谷市長へ支援金500万円をお渡し



珠洲市内の視察



津波被害を受けた街並み（珠洲市宝立町）

珠洲市内の視察



地震によって地面が隆起（珠洲市飯田港）

石柱や社殿が倒壊した神社（珠洲市野々江町）



輪島市役所訪問



輪島市 坂口市長へ支援金500万円をお渡し

輪島市内の視察



地盤隆起による被害（輪島市役所）



地震で転倒・倒壊したビル（輪島市河井町）

輪島市内の視察



大規模火災に見舞われた輪島朝市
(輪島市河井町)



海底の隆起が見受けられた輪島港
(輪島市鳳至町)

若手職員等による「提案型プロジェクトチーム制度」

- 35歳以下の職員が全体の4割超え
- 職員意識調査では、自身の能力やスキルを他の職場の業務に活用したい意向が見受けられる



持続可能な区政運営に向けて・・・

今後の区政を担う若手職員等が、企画・立案という政策形成過程を経験する機会を拡充する

【参考】年齢別職員構成割合（令和5年4月1日時点）

～20歳	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳
11人 (0.2%)	304人 (5.5%)	680人 (12.3%)	623人 (11.3%)
32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳
739人 (13.4%)	496人 (9.0%)	357人 (6.5%)	367人 (6.7%)
48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳～
531人 (9.6%)	555人 (10.1%)	558人 (10.1%)	293人 (5.3%)

計5,514人

若手職員等による「提案型プロジェクトチーム制度」(PT)

- 各部・職員個人からPTの提案を募集し、若手職員を中心にプロジェクトチームを構成
- PT活動を通じ、効果的に経験学習機会を提供し、重点的に取り組むべき人材育成上の課題(※)の一つである「未知の課題に対処するスキルの向上」につなげる



※重点的に取り組むべき人材育成上の課題

- ①行政実務能力の底上げ、②未知の課題に対処するスキルの向上、③キャリアサポート体制の整備
- ④管理職のマネジメント力向上に向けた体系的育成手法の構築

中高生世代の自習を応援します！

世田谷区の
区民センター、地区会館などで

自習ができます **無料**

自習ができる施設・日時等の詳細は
区ホームページ

**2次元コードから
確認**できます。



概要

令和6年3月より実施中

区民センター等の区民集会施設の空いている時間帯を活用して、会議室等を自習ができるスペースとして中学生・高校生を対象に開放しています。

開放日時 17:30～21:30(一部の施設は21:00まで)
開放日は施設により異なります。

開放施設 区民センター、地区会館、区民集会所 計12施設
(5/10現在)

一部の区民集会施設では、どなたでも自習や読書、休憩などで利用できる読書室やロビーがありますが、中学生・高校生も自習で利用できます。

開放日時 9:00～22:00

開放日時は施設により異なります。

開放施設 区民センター、地区会館 計6施設



新庁舎の内覧会

令和6年5月19日（日）

9時～16時（受付は15時まで）

本庁舎東1期棟の10階展望ロビーから地下1階までの順路をめぐり、区議会議場（傍聴席）や区長応接室区民会館ホール練習室等をご覧いただけます。

* 事前申込不要でどなたでも参加可能、自由内覧

* 参加者多数の場合は入場制限の可能性あり

報道機関を対象とした内覧会 * 要参加申込

令和6年5月18日（土）

11時～11時20分 レリーフ除幕式

11時30分～ 内覧会



東棟10階には 展望ロビーがあり
南西側の眺望が楽しめます

名誉区民 中川李枝子氏の絵本
「ぐりとぐら」のパネル展示も実施！
（令和6年9月頃まで）



図書館ブックボックス



令和6年4月スタート

中等度難聴者のための補聴器購入費助成

事業目的

ライフステージに応じた生活の質の向上

✓学校での人間関係構築

✓職場での意思疎通

✓認知機能低下の防止



18歳～64歳の方

【対象】

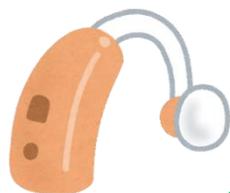
前年度の住民税が非課税の世帯の方

【助成額】

5万円（両耳10万円）

【特例】

学生は対象要件と助成額に特例あり



65歳以上の方

【対象】

前年度の住民税が非課税の世帯の方

【助成額】

5万円





施設外観



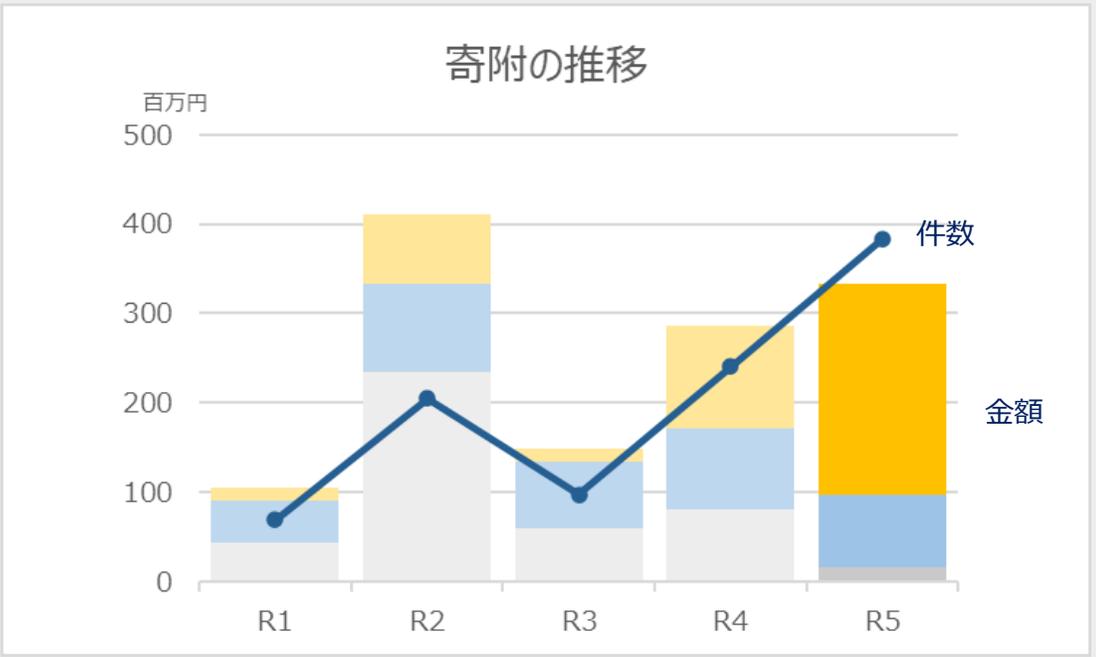
上用賀アートホール リニューアルオープン

ホール内



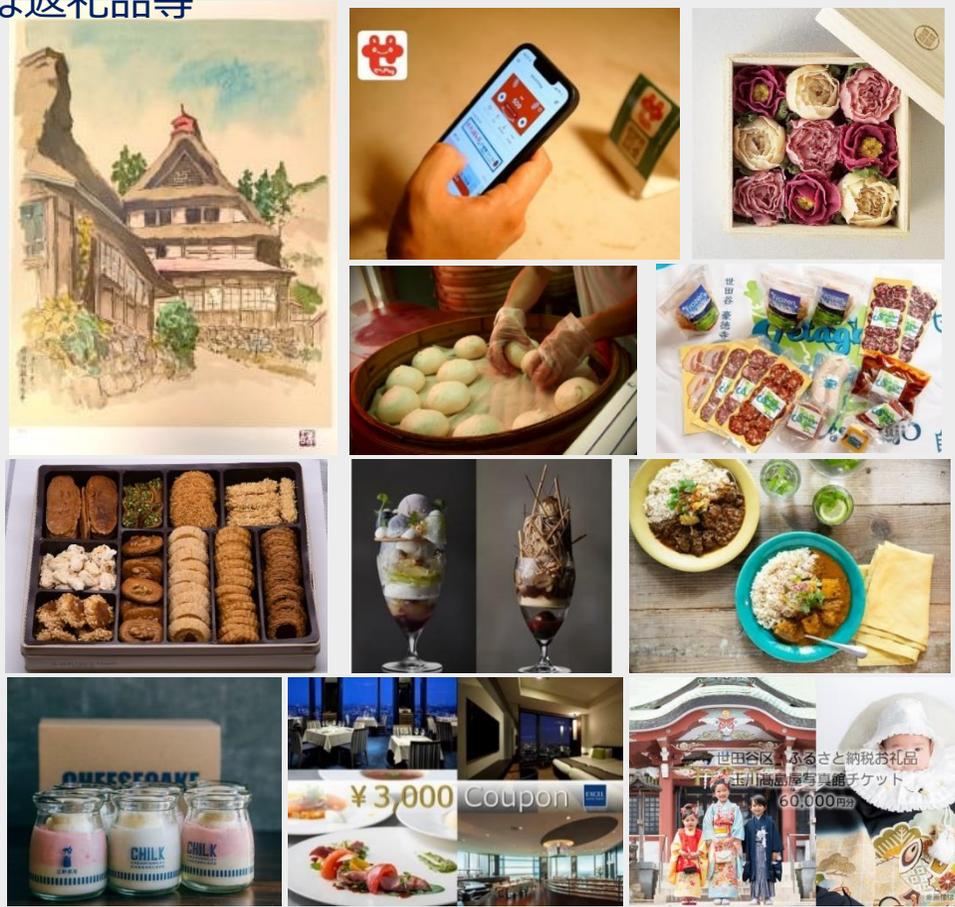
新たに追加した主な備品

令和5年度 寄附実績 (令和6年3月31日時点)



令和5年度 全体 **3億3,255万円**
7,735 件

主な返礼品等



個人からの寄附 **区外** **区内**

約**3億1,646** 万円
(前年度比 **1億1,187**万円UP)
7,284 件 (前年度比 **2,911**件UP)

その他の寄附 **遺贈・法人や団体・区分不明**

合計 約**1,609**万円 **451**件

新型コロナウイルス感染症対応記録 作成の経緯

令和2年1月以降、誰も経験したことがないパンデミックに
地区医師会、地域の医療機関等の関係者と共に総力戦で対応

コロナ対応の
経験を踏まえ

令和6年4月1日

区の感染症予防の総合的な取組みの基本指針等を定めた
「世田谷区感染症予防計画」を策定

世田谷区感染症
予防計画の別冊
として

令和6年4月25日公開

区の独自の取組み等、具体的な対応を記載した
「新型コロナウイルス感染症世田谷区の対応記録」を作成

次の新興・再興感染症発生時の
対応に活用

新型コロナウイルス感染症対応記録 全体構成

(1) 世田谷区は新型コロナウイルスとどう向き合ったか？

2～10ページ

4年間の新型コロナウイルス感染症への対応のあゆみを前書きとして記載

(2) 世田谷区における新規感染者数の推移

11～12ページ

毎月の新規感染者数の推移を記載

- ・令和2年4月から令和4年9月25日まで：全ての新規感染者
- ・令和4年9月26日から令和5年5月7日まで：感染者の一部(全数把握の見直し)

(3) 世田谷区における主な取り組み

13～188ページ

- ・主な取り組みを28の項目に分類し、実施期間・概要・詳細を記載
- ・医師会、高齢者施設、保育園、学校等の関係者によるコラムを掲載

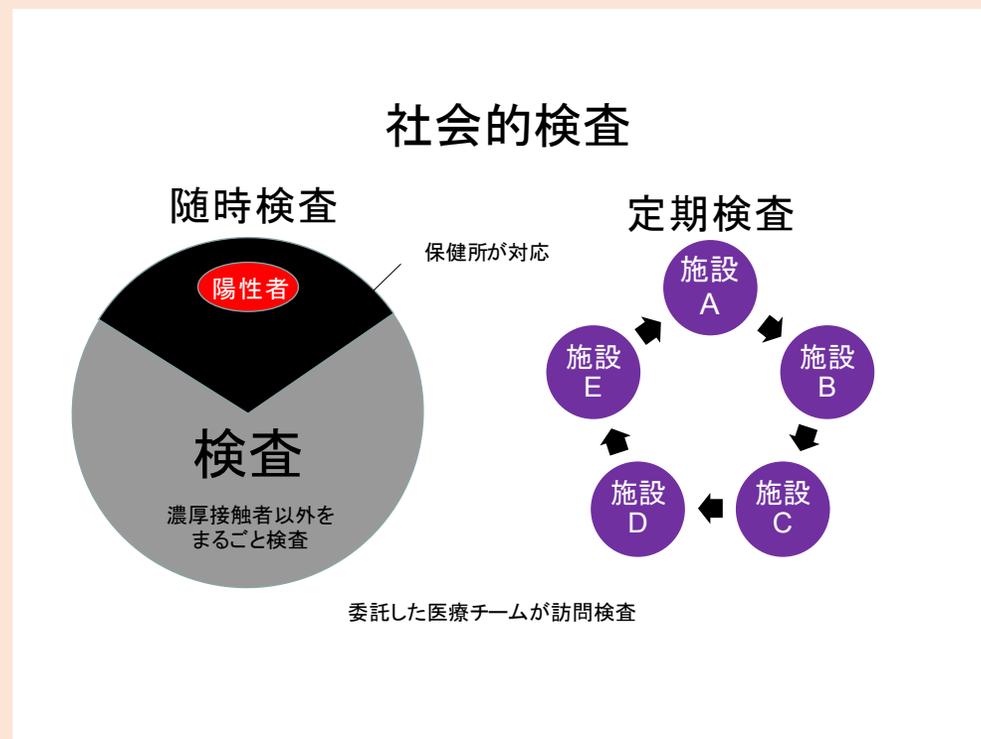
新型コロナウイルス感染症対応記録 主な区独自の取り組み

(1) 社会的検査

高齢者施設等を対象に感染者を早期に発見し、重症化を避け、施設内でのクラスターを抑止することを目的に令和2年10月より実施

定期検査：高齢者施設を対象とした定期的な一斉検査

随時検査：感染者の発生した施設で職員・利用者全員を対象とした検査



新型コロナウイルス感染症対応記録 主な区独自の取り組み

(2) 世田谷区における新規感染者数の推移

PCR検査の手法として、
複数人分の検体を混同して同時に検査するプール検査法を導入

東京都実施「PCR等検査無料化事業」で
区は川崎重工業株式会社と協定を締結し、
延べ80,425件の無料PCR検査を実施。

「検体プール検査法」を採用



新型コロナウイルス感染症対応記録 主な区独自の取り組み

(3) オンライン診療の仕組みの整備

持病がなくオンライン診療で対応できる発熱者に、検査→診断→投薬までワンストップでできる医療機関によるオンライン診療の仕組みを整備

- ①抗原検査キットが自宅までバイク便で届けられ
- ②自宅で医師による診療を受けることができ
- ③医療機関より薬が処方され
- ④自宅までバイク便で薬が届けられる
仕組みを整備



※オンライン診断の様子

子どもと家庭を支える学習・生活支援の拠点事業 2か所目を開設

<対象者> 学習・生活習慣等に課題を抱えている中学生とその保護者

※要利用申請（所得要件あり）

<実施内容> 居場所提供、学習支援、生活支援、相談支援（保護者を含む）



<実施日時> 週5日（月・水・金・土・日）、16時～21時 ※祝日も実施

<利用料> 無料

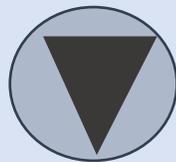
定期的な利用を通じて、中学生のお子さんが学習や生活の習慣を身につけ、
高校進学も見据えながら、本来持っている力を発揮できるように、サポート

子どもと家庭を支える学習・生活支援の拠点事業 2か所目を開設

1カ所目開設 令和3年8月（烏山地域）

令和6年3月末までに延べ6千人の中学生が利用

経済的困窮に加え、養育困難、社会的孤立等、複合的困難を抱えている家庭や、虐待等によりハイリスクな家庭が利用することで、子どもが児童相談所での一時保護となることなく、地域で安定した生活を送ることができるようになる等の効果があった。



2カ所目を開設 令和6年6月～（玉川地域）

子どもの貧困対策の推進に加え、児童相談所設置区におけるセーフティネットの強化を推進！

令和6年度 第1回 世田谷区長 定例記者会見

ありがとうございました

令和6年5月10日
世田谷区